

## ■一般目標 (GIO)

全部床義歯研磨までの全部床義歯技工学の理論および製作の技工術式を基に、全部床義歯を仕上げる。レジン填入から全部床義歯完成までの各工程について、さらに理論と技工操作の知識および技術の向上を目指し、安定した咬合関係の再現、発音および審美性の回復を図り、無歯顎患者の健康増進に寄与する全部床義歯の製作法について学ぶ。

## ■到達目標 (SBOs)

- ・床用レジンのフラスク内への填入操作と、その注意点を修得することができる。
- ・床用レジン重合後の歪みを調整し、咬合の安定を図るとともに、運動時の両側性平衡咬合を得るための調整の原則と、その方法を修得することができる。
- ・義歯床研磨の目的とその技工術式を理解することができる。
- ・咬合床の構成要素および使用目的と意義を理解することができる。
- ・ゴシックアーチ描記装置の目的および技工操作について修得することができる。

■教科書：最新歯科技工士教本 有床義歯技工学（医歯薬出版）

■参考資料：プリント配付

■授業時間：火曜日 18：50～21：15

■オフィスアワー：市川 裕美 (ichikawa.hiromi@nihon-u.ac.jp) 火曜日 17：00～17：45

■成績評価：実習製作物を評価（100%）し、フィードバックを行う。

■注意事項：定められた工程で検印を受け先に進める。検印のない製作物は評価しないので注意すること。

■授業方法：模型を用いた技工作業を実習形式で行う。

■準備学習：実習内容に関連する項目を事前に教科書で確認しておくこと。

■準備学習時間：必要な時間（1時間程度）を充てて予習を行うこと。

■実務経験：市川 裕美：歯科技工士としての臨床経験をもとに、他教科も含めた口腔内全体の機能と補綴装置の関わりを考慮した補綴装置の製作方法をわかりやすく丁寧に教えていく。

■実務経験：有床義歯技工学（全部床義歯技工学）（1年）

## ■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回 10月5日 市川 裕美 梅沢 岳司 吉川 正則	3. 床用レジンの填入、重合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フラスク内のワックスを除去するための流蠟器の使用法と注意点を修得することができる。</li> <li>・床用レジンのフラスク内への填入操作と、その注意点を修得することができる。</li> <li>・床用レジンの加熱重合法の操作と注意点を修得することができる。</li> </ul>
第2回 10月12日 市川 裕美 他	4. フラスク開盆 5. 咬合器再装着 6. 咬合調整（1） 1) 選択削合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・咬合器再装着の方法としてスプリットキャスト法を理解することができる。</li> <li>・床用レジン重合後の歪みを調整し、咬合の安定を図るとともに、運動時の両側性平衡咬合を得るための調整の原則と、その方法を修得することができる。</li> </ul>
第3回 10月19日 市川 裕美 他	6. 咬合調整（2） 1) 選択削合 2) 自動削合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床用レジン重合後の歪みを調整し、咬合の安定を図るとともに、運動時の両側性平衡咬合を得るための調整の原則と、その方法を修得することができる。</li> </ul>
第4回 10月26日 市川 裕美 他	6. 咬合調整（3） 2) 自動削合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床用レジン重合後の歪みを調整し、咬合の安定を図るとともに、運動時の両側性平衡咬合を得るための調整の原則と、その方法を修得するこ</li> </ul>

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
		とができる。
第5回 11月2日 市川 裕美 他	7. 研磨 (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・義歯床研磨の目的とその技工術式を理解することができる。</li> <li>・義歯床の研磨は、床縁、表面、粘膜面の研磨があることを理解することができる。</li> <li>・荒研磨による義歯床辺縁形態の修正、表面および内面の調整の術式を修得することができる。</li> </ul>
第6回 11月9日 市川 裕美 他	7. 研磨 (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・義歯床研磨の目的とその技工術式を理解することができる。</li> <li>・義歯床の研磨は、床縁、表面、粘膜面の研磨があることを理解することができる。</li> <li>・荒研磨による義歯床辺縁形態の修正、表面および内面の調整の術式を修得することができる。</li> </ul>
第7回 11月16日 市川 裕美 他	7. 研磨 (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・義歯床研磨の目的とその技工術式を理解することができる。</li> <li>・義歯床の研磨は、床縁、表面、粘膜面の研磨があることを理解することができる。</li> <li>・荒研磨による義歯床辺縁形態の修正、表面および内面の調整の術式を修得することができる。</li> </ul>
第8回 11月30日 市川 裕美 他	7. 研磨 (4) 全部床義歯の完成・提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研磨用具を用いて義歯床を滑沢に仕上げる技工術式を修得することができる。</li> <li>・完成した全部床義歯を提出し、評価を受けることができる。</li> </ul>
第9回 12月7日 市川 裕美 他	2. 実技評価試験作業用模型の製作 1) 複印象へ石膏注入 2) 歯槽頂線の記入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全技協実技評価試験の作業用模型を製作することができる。</li> </ul>
第10回 12月14日 市川 裕美 他	2. 作業用模型の調整 1) 歯槽頂線の記入 2) 後堤法の調整 3) 干涉腔の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工歯排列の基準線となる歯槽頂線の意義と設定法を理解することができる。</li> <li>・後堤法の目的を理解し、その中から Swenson 法の設定法を修得することができる。</li> <li>・緩衝法の目的、設定位置および技工の術式を修得することができる。</li> </ul>
第11回 12月21日 市川 裕美 他	3. 咬合床 (1) 1) 基礎床製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・咬合床の構成要素および使用目的と意義を理解することができる。</li> <li>・常温重合レジンを使用し、辺縁形態および厚さの重要性を理解し、変形が無く正確な基礎床の製作法を修得することができる。</li> </ul>
第12回 1月11日 市川 裕美 他	3. 咬合床 (2) 2) 咬合堤製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・咬合堤の高さは標準的な高さを参考にし、製作法を修得することができる。</li> <li>・咬合堤の高さは標準的な高さを参考にし、製作法を修得することができる。</li> </ul>
第13回 1月18日 市川 裕美 他	3. 咬合床 (3) 2) 咬合堤製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・咬合堤の高さは標準的な高さを参考にし、製作法を修得することができる。</li> <li>・咬合堤の高さは標準的な高さを参考にし、製作法を修得することができる。</li> <li>・咬合堤の高さおよび幅を正確に製作する操作を修得することができる。</li> </ul>
第14回 1月25日 市川 裕美	3. 咬合床 (4) 2) 咬合堤製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・咬合堤の高さは標準的な高さを参考にし、製作法を修得することができる。</li> </ul>

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
他	咬合床の完成・提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・咬合堤の高さは標準的な高さを参考にし、製法を修得することができる。</li> <li>・咬合堤の高さおよび幅を正確に製作する操作を修得することができる。</li> <li>・完成した全部床義歯を提出し、評価を受けることができる。</li> </ul>
第15回2月8日 市川 裕美 他	3. ゴシックアーチ描記装置 4. 咬合器再装着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴシックアーチ描記装置の目的および技工操作について修得することができる。</li> <li>・記録床を使用した下顎の作業用模型を再装着する方法を修得することができる。</li> </ul>